

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清守

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 鈴木正男  
 幹事 釜谷健一  
 会報委員長 松島孝彰

## 真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身

Act with Integrity Serve with Love Work for Peace

1995~96年度 RI会長 ハーバート・G・ブラウン

No. 29

### きょうの例会

第652回 平成8年2月13日(火)

講演 “法人としての神社と聖域としての神社”  
会員 吉田 玄君

### 先週の記録

第651回 平成8年2月6日(火)晴/雪

#### ◇ “我等の生業”

#### ◇ 出席報告

会員	68名	出席	44名
出席率	64.71%		
前々回	1月23日 (修正出席率)	100%	

#### ◇ ビジター数紹介 142名

#### ◇ ニコボックス

職業奉仕委員長 小林 明君 松林寺さんお世話になります。皆様御出席有難うございます。  
 西村 禎二君 本日はお寒い中職場例会節分会にお出まし下さいまして有難う存じます。何かと不行届きにて申訳ありません。  
 足立 一成君、秋山 茂則君、伊豫田博明君、釜谷 健一君、加藤 大豊君、河村 政孝君、菊池 昭元君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、小坂井盛雄君、黒野 貞夫君、松島 孝彰君、三輪 康君、宮尾 紘司君、三好 親君、水野 民也君、水野 賀續君、永井 正義君、西川 豊長君、西野 英樹君、西尾 正巳君、大谷 和雄君、尾関 武弘君、鷲谷 龍男君、佐久間良治君、佐野 寛君、笹野 義春君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、竹内 眞三君、田中 昭二君、谷口 優君、舎人 経昭君、上野 保君、魚津 常義君、和田 正敏君、鷲野 義明君、渡辺 辰夫君、吉田 節美君、吉田 玄君 松林寺さんお世話になります。

#### ◇ 釜谷幹事報告

1. 次回例会終了後、規約整備委員会を開催致しますので規約整備委員の方はお残り下さい。
2. 下半期会費をまだお振り込み頂いてない方は、至急お願い致します。

#### ◇ 小林職業奉仕委員長挨拶

本日は御寒い所多数御出席を頂き誠に有難うございました。松林寺での節分を兼ねた職場例会を西村和尚さんに御願いをして会員皆様の御家庭と会社の今年一年間の無事故と、御健康と御繁栄を祈願して頂く訳でございます。毎年の事とはいえ本当に御世話になりますが、心より感謝申し上げますと共に厚く御礼を申し上げます。

さて私事で誠に恐縮でございますが、今年1月13日と14日に本松林寺の檀家の皆様120人とバス3台で本山の永平寺に修行に行っていました。

皆様も良く御存知とはおもいますが、永平寺は今から750年前寛元2年(1244年)に道元禅師によって開創された出家参禅の道場であり、修行の厳しさは、他の研修道場と其の比を見ないと思います。又、若い僧侶、見習の方、これを雲水と申しますが、200人ぐらい約3年間厳しい修行をされて居ます。西村さん、御長男隆明君も修行され、今年4月~5月頃は本松林寺に御帰りになるように聞いて居ります。

雲水の皆さんと比較して私達は暖房完備の宿坊で寝る事が出来、13日午後6時より大講堂で20分座禅をくみ、40分の法話の後、9時消灯で1日を終えました。14日は朝5時半起床、20分間でふとんをたたみ洗面を終え、5時50分廊下に集合、2列に並び6時より法堂での朝課に参加致しました。法堂が一番高い所にあるので階段を160段昇り5分程度で法堂に着きましたが、其の間私語一切出来ず、これは雲水さんと同様でございます。

さて、法堂での朝課ですが、200人近い僧侶が一人一人低音で読経され、法堂に響きわたり、荘厳さはすばらしくその2時間で私の65年間にわたり体内にさびついた悪い心、体を、きれいに清めて頂いた様な気持ちで、良い体験をさせて頂いたと思って居ります。皆様も一度すばらしい伝統の儀式に参加されます事をお勧めいたします。

#### ◇鈴木(正)会長挨拶

当クラブ恒例となりましたここ松林寺に於る節分会職場例会を、今年も西村和尚さんと職場奉仕委員会のお世話で開催することができました。深く感謝申し上げます。

今回は、日程の都合により既に節分から三日も過ぎましたが、会員皆様にはお寒い中を多数ご出席くださいましてどうもありがとうございました。

このあと、西村和尚さんにご祈祷をして頂き、新しいお護符を授かったあと、豆をまいて邪気を払い、福を招き入れる節分の行事を終りますと、暦の上では、節分の日を境として、冬の節は終り春の節に移ります。節分の翌日が立春であります。春の始まりです。とは申せ、まだまだ寒波寒風の荒れ狂う今の季節では、未だに春の足音は遠く、それだけに“春よこい、春よこい”と早く春を待つ気持ちも湧いてくるこの頃です。

昨年から今年にかけて、日本の社会は、余りにも大きな不幸な事件に続いて見舞われました。「住専」問題では、いま日本国中が騒然と揺れ動いています。しかし、この問題もやがて時が経てば、いづれは落ち着くときがやってくるでしょう。

世の中、いつまでも悪いことばかり続くものではないことを信じたいと思います。

“冬来たりなば、春遠からじ”

寒い冬が終り暖かい春が訪れるように、一陽来復を信じて、明日に希望を持ってお互いに頑張って生きてゆきたいものであります。

### ~~~~~ 節 分 会 ~~~~~

#### ◇西村君法話

本日は職場例会節分会に46名の方々にご出席を賜り厚くお礼申し上げます。

早朝より雪が舞い、最高気温2度の寒い立春となりました。法堂の中にゆらぐ灯明、肺腑をえぐるような太鼓の響き、その間を縫うメリハリの利いた諷経の音声、皆様方の神妙な顔つき、心の奥から今私たちの日常を超えて遙かに大なるものを得られたと確信しております。

平素なにごともなく日暮しをしておりますが、時には無限に優位なるものに依存しなければ生きてゆけないことがあります。それが

人間と云うものでしょう。どんなに世の中が近代化、合理化されても、又、されればされるほど人の心は無視できないと云えます。心を大切に、日々の健康を維持し今年も明るいロータリアンの人々に幸、多からん事を祈念します。



#### 節分会に参加して

十年振りの豪雪という今シーズンですが、運よく雪もなく松林寺で節分会が催されました。巷では住専問題が騒がれていますが、このような世相の厄を落とし少しでも良い年を送れるようにとの思いから今年も参加させて頂きました。

恒例となっています西村住職によります会員一人一人の背中へ分厚い経本（見るからに靈験あらたかな経本です）をズシリと押し当てるといふ厄払いと幸運を授ける祈祷が行われました。この分厚い経本の押し当てが例年にも増して痛い（いや！「あらたか」と感じたのは私だけでしょうか？

西村住職から卓話があり、その中で体の健康にも増して「心の健康」に留意して下さいとの一節は、分厚い経本の一撃よりも心に感じるものがありました。

その後和やかな食事会となり般若湯を酌み交わし、楽しい一時を過ごせました。

#### ◇1 月度理事会議題(1/30)

1. 新入会員候補者承認の件
2. 新入会員候補者の件
3. 社会奉仕副委員長長の件
4. ローターアクト会員増員の件
5. 1995~96年度上半期決算報告の件
6. 1996~97年度各委員会委員長委員長の件

#### ◇例会変更のお知らせ

- 名古屋東RC 2/26(月)職場例会の為、名古屋東急ホテル、NTT栄ビルにて  
名古屋西南RC 2/29(木)IM全員登録の為、2/23(金)にて

#### ◇次回例会(2月20日)

委員会報告 大口国際奉仕委員長